

営業概況

電子部品 複合デバイス

事業の概要

当社製で信頼性の高い電子部品を搭載し、さまざまな市場に対応した通信デバイスや電源モジュールなどを展開しています。

2014年3月期の業績

モバイル通信用デバイス(SAW/FBAR)と電源モジュールの売上が前期比で減少したことにより、売上高は前期比11.4%減の423億75百万円となりました。

2014年3月期の主な取り組み

スマートフォンのキーデバイスであるモバイル通信用デバイスについては、SAW技術をコアとした商品の開発を行いました。また、近年普及し始めた通信方式であるLTEに対応する小型・低消費電力のフィルタデバイスや、整合回路を付加したフロントエンドモジュールなどを開発し、提案を行いました。さらに、より高機能なデバイスを目指してFBAR技術を駆使した商品の開発にも注力しました。

複合機能モジュールについては、特に独自開発の部品内蔵配線板「EOMIN™(イオミン)」が、スマートフォン用カメラモジュールの小型薄型化に大きく貢献しました。

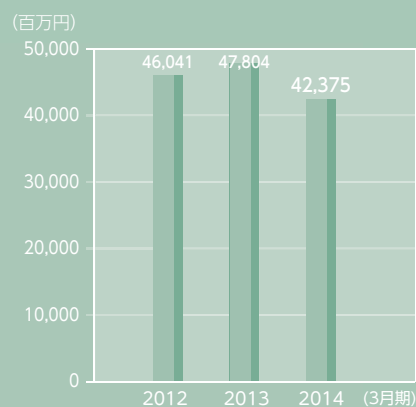
無線通信モジュールについては、Bluetooth®、無線LANなどの異なる通信規格を同一モジュールで実現するコンビネーションモジュールの開発・商品化に特に注力しました。

今後の取り組み

SAW/FBAR技術を核とした高周波事業の展開、当社グループオリジナル技術から生まれた部品内蔵配線板「EOMIN™」を用いたスーパーハイエンド商品の積極的な市場投入、ならびにエネルギー市場に向けた回生システム等の電源事業の強化を図ります。

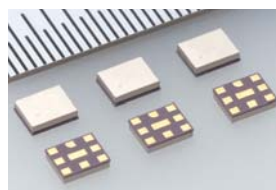
また、モバイル通信用デバイスは、次世代通信方式のメインであるLTEの普及に伴う搭載点数の増加に対応した生産体制の構築に努めます。

売上高推移

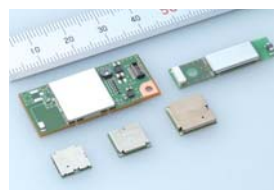


主な商品

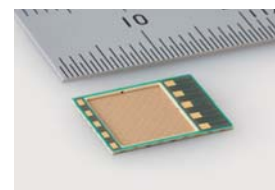
モバイル通信用デバイス(SAW/FBAR)、電源モジュール、高周波モジュール、部品内蔵配線板「EOMIN™(イオミン)」



モバイル通信用デバイス
(SAW/FBAR)



無線モジュール



部品内蔵配線板
「EOMIN™(イオミン)」